

# BOOK TRAIN

ブックトレイン

千代田図書館  
学校支援担当発行  
夏の図書だより  
2017  
中学生版

中学生のみなさんにおすすめの本を紹介します。



のマークは気軽に読める本、



のマークは読みごたえのある本です。



## 『あおのじかん』



イザベル・シムレール/文・絵 石津ちひろ/訳 岩波書店

### 思わずうっとり！ 絵本で味わう青のひととき

太陽が沈んで夜になるまでのひととき、世界は青に包まれる。「マジック・アワー」とも称される特別なその時間、生き物たちは夜をむかえる準備を始める。森の木の枝にはアオカケス、睡蓮の池にはコバルトヤドクガエル…。様々な青を用いて、力強くも繊細に描かれた生き物たちが次々に登場。そのうちに夜の気配が濃くなって…。眺めているだけで、いつの間にか心がおだやかになるフランス生まれの絵本。



## 『河童のユウタの冒険（上）・（下）』



斎藤惇夫/作 金井田英津子/画 福音館書店

### 水源をめざし、今、旅が始まるー

「恵みの湖」に棲む河童のユウタは、突然現れたキツネに「そなたは旅立たねばならぬのです」と告げられ、戸惑う。ユウタは、理由も目的もわからないまま、キツネの言う“龍川”の水源を目指すことに。旅の仲間、九尾のキツネの孫娘アカネと天狗のハヤテ。実はこの旅、ヒト以外の全ての生きものが、待ち望んでいたのだ。『ガンバの冒険』シリーズの著者がおくる長編ファンタジー。読後の満足感はおスミつき！



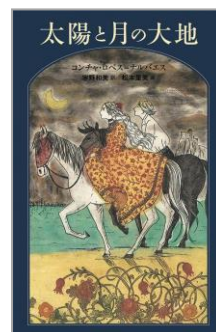
## 『太陽と月の大地』



コンチャ・ロペス＝ナルバエス/著 宇野和美/訳 松本里美/画 福音館書店

### 友情、愛情、憎しみ、怒りの織りなす波が、すぐそこまで迫っていた

「月の上に太陽がかかっている。その怒れる日ざしで月は粉々にくだけて海に落ち、遠い異国の浜まで波に運ばれていけよう…」老婆から不吉な予言をされた伯爵家の娘マリアと、領民の息子エルナンド。二人の淡い想いは、時代と宗教にのみ込まれ、やがては思いもかけない結末へと流されていく。16世紀のスペインで起こった史実を基に作られた、今もなお、スペインで読み継がれる児童文学の傑作。





マーク・トウェイン ショートセレクション

## 『百万ポンド紙幣』



マーク・トウェイン/作 堀川志野舞/訳 ヨシタケシンスケ/絵 理論社

### 差し出されたのは地獄への切符か、天国への招待状か

事故により、ロンドンで路頭ろとうに迷ったアメリカ人のヘンリー。そんな彼の前に大富豪ぶこうの兄弟が現れ、一億円以上の価値がある百万ポンド紙幣しはいを差し出してきた。兄弟は、突然大金を持ったヘンリーが、犯罪者と間違われて警察に捕まるのかどうかの賭けをしたのだ。兄弟の残酷な遊びに巻き込まれた彼の運命は？ 表題の『百万ポンド紙幣』他 6 話を収録。



## 『夢十夜 他二篇』



夏目漱石/作 岩波書店

### あなたの知らない漱石の世界が開かれる

『夢十夜』は「こんな夢をみた」ではじまる十夜、十話の短編である。いずれも、捉えどころのない次元に放り出されたような、不思議な感覚に満ちていて、教科書とは違った漱石の一面が垣間見られる。漱石の生誕 150 年を迎えたこの年の夏に、彼の夢に迷い込むのもまた一興。表題作の他『文鳥』『永日小品』を収録。



## 『光のうつしえ 廣島 ヒロシマ 広島』



朽木祥/作 講談社

### いなくなってしまったけれど、たしかに存在した大切な人たち

希未のぞみがお参りする墓園ほえんの墓には共通点がある。墓石きせきに刻まれている日付が昭和 20 年 8 月 6 日なのだ。ある年、希未は墓園で美術の吉岡先生を見つけた。先生が今も過去の悲恋ひれんに苦しんでいると知った希未は、ある決心をする。原爆投下から 25 年後、生き残った人々の悲しみに寄り添い、かつての広島ひろしまをうつしだそうとした中学生たちの物語。



## 『世界中からいただきます！』



中山茂大/文 阪口克/写真 偕成社

### ある日突然、外国人のおじさんが、あなたの家に遊びにきたら…？！

家族の素顔や、いつもと変わらない、かざらない生活を見たい。そんな想いを胸に、日本人のおじさんコンビは「居候いそうろう」スタイルをとって、世界各地の家庭料理をいただく。居候生活 3 日目くらい、普段通りの晩ごはんになる頃には、みんなでグラグラ笑いあう仲に。現地のおもしろレポートと一緒に、「いただきます！」の瞬間を切り取った写真がつまった一冊。

